

1. 愛三グループ VISION

VISION2030 この手で笑顔の未来を

目指す姿

**確かな技術と品質で
豊かな社会へ新たな価値を創造。
今をもっと快適に、
未来の子どもたちに安心と笑顔を。**

ESG経営

社会価値

安全・安心な社会で
心の豊かさを実感

環境価値

地球環境への配慮と
暮らしやすさの両立

経済価値

社会価値の最大化
により持続的に成長

Aisan

2. 愛三グループVISION 目指す姿

VISION2030 私たちの思い



確かな技術と品質で 豊かな社会へ新たな価値を創造。

私たちは、高い技術力と「品質の愛三」を守り抜いてきた強い信念を受け継ぎ、事業活動を通して新たな価値を創造し、誰もが暮らしやすく地球環境にやさしい豊かな社会の実現に貢献することを目指します。



今をもっと快適に、

私たちは、これまで取り組んできた環境技術やモビリティの中核を支えるシステム開発技術により、環境負荷の低減と運転の楽しさ、乗り心地の良さを両立させた、クリーンで安全・安心なモビリティを世界中に提供できるよう貢献します。人にも地球にも快適な存在へとモビリティの価値を高め、パートナーとともに持続的成長を目指します。



未来の子どもたちに安心と笑顔を。

私たちは、モビリティの可能性を広げ、暮らしに豊かさと笑顔をもたらす新たなソリューションを提案し「未来づくり」で社会に貢献します。
子どもたちに、いつまでも安心して笑顔で過ごせる未来を届けることを目指します。

3. 愛三の歴史とアイデンティティ

当社はこれまで、社会環境や規制強化といったニーズの変化に対応するため、ひたむきに技術を磨き、幾度の変革を乗り越え、成長を遂げてきました。歴史で培ったチャレンジ精神や品質へのプライドは、愛三のアイデンティティとして今も受け継がれています。

愛三の歴史

愛三のアイデンティティ

安全・環境問題・規制強化への
技術革新とチャレンジの歴史

1945年 終戦後、民需転換。
自動車部品メーカーとして第2の創業

1970年代 「キャブレタの愛三」として車の心臓部、
エンジン機能部品のメーカーとして発展。
排ガス規制に新技術で対応

1980年代 電子制御燃料噴射（EFI）製品へ
主力事業を転換

1990年代 クルマの電子化・高機能化に対応した
製品を開発

2000年代 モジュール化を推進、エンジン適合で
高度な擦り合わせ技術を確立

2010年代 FCV向け製品を開発



変革を乗り越えてきた
チャレンジ精神

重要機能部品を支える
「品質の愛三」への誇り

規制強化の波に対応
環境技術

すべてのステークホルダーのために
実直でひたむきな企業姿勢

システムサプライヤーとして持続可能な低炭素社会に貢献する製品を開発し続ける

4. 社会変化におけるマテリアリティと取り組む因子

10年後の環境変化を予測し、当社が取り組むべきマテリアリティ（重要課題）を抽出し、戦略の方向性を導きました。

2030年の予測

当社の取り組むマテリアリティ・因子



環境変化

- CO2増加による気温上昇（+2℃）
- 気候変動（砂漠化 水資源・食料不足）
- 自然環境変化による新型ウイルスの発生
- 海洋汚染（マイクロプラスチック）
- 水素社会の拡大

- ・ 脱炭素・ゼロエバポ対応
- ・ 水素社会技術開発
- ・ 多様燃料対応
- ・ 気候変動対応
- ・ 廃棄物ゼロ



社会変化

- 世界人口の爆発的増加（+11.5億人）
- 全世界高齢化
- 労働人口の減少（製造能力）
- 産業構造変化
- 価値観・ライフスタイルの大幅な変更

- ・ ダイバーシティ（多様性対応）
- ・ 働き方改革
- ・ DX（ロボット化、IoT対応）



モビリティ変化

- 先進国市場飽和、成長国市場拡大
- 脱炭素対応へビジネスモデル変化
- 社会インフラのエネルギー多様化
- 資源循環・リサイクル革新
- ピュアICEの禁止、電動車の拡大（30%）
- スマートシティ、CASE、MaaS普及
- 自動運転車両普及（自動運転普及Lv4）

- ・ EV技術
- ・ 水素技術
- ・ システム開発
- ・ MBD
- ・ 蓄電池技術
- ・ HV技術
- ・ 多様燃料対応技術
- ・ ソフト開発力
- ・ センサー技術
- ・ 電子生産技術

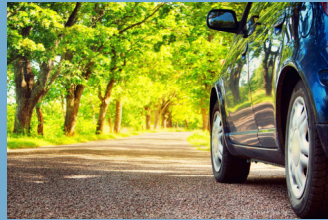
5. 目指す姿の実現に向けた取り組み

「目指す姿」の実現へ、2つの事業領域、3つの基盤で取り組みを推進します。その道筋は、SDGs（持続可能な開発目標）への貢献とも深く結びついています。

事業

【モビリティ】 クリーンで安全・安心なモビリティの実現

- 環境技術を活かし低CO2、脱炭素に向けた製品開発
- システムサプライヤーとして安心・安全なモビリティへの進化を支える



【未来社会へ】 暮らしやすい豊かな社会へプラス1の価値創出

- モビリティの可能性を広げる「未来づくり」
- 蓄積した技術と新たな創造により水素社会の実現に貢献



将来を支える3つの基盤

デジタル革新（DX） アジャイル、ロボティック改革

- ・小回りが利いた開発の進化
- ・ゼロエミッションなスマートファクトリー

人財 ダイバーシティ&インクルージョン 働き方改革

- ・一人ひとりが能力発揮できる機会を提供
- ・ワークスタイルにあわせた環境の提供

風土 チャレンジ精神と誇りを胸に さらなる成長へ

- ・幾度の変革を乗り越え、新たな道を切り開いてきた「チャレンジ精神」
- ・風通しの良い職場、自分の仕事に誇りと責任を持ち、何でも話せる職場

